

# R&D 懇話会(第 155 回)

## バイオマス原料の利活用における触媒技術

主催 公益社団法人日本化学会産学交流委員会

日 時：平成 23 年 5 月 27 日（金）17:00-

会 場：化学会館（東京都千代田区神田駿河台 1-5） \*定員（20 名）になり次第締め切り

話題提供 - バイオマス原料の利活用における触媒技術（17:00-18:30）

**[企画趣旨]** 将来の資源問題の対応として資源の多様化があげられるが、持続可能な社会の実現のため、最近、原料変換、特に天然物である植物由来の原料（バイオマス原料）の利活用に関する取組みが盛んになってきている。バイオマス原料を化学原料に変換する技術、特に触媒技術が重要な役割を担っている。そこで、今回は、バイオマス原料の利活用についてご研究されているお二人の先生方に、触媒技術を利用した化学原料への変換や利活用についてご講演いただく。

### 17:00-17:45 固体酸触媒による化学資源の低環境負荷生産

（東工大・応用セラミック研）原 享和

新しい固体酸触媒による化学資源の低環境負荷生産について概説する。スルホ基を結合したアモルファスカーボンにはバイオディーゼル合成、セルロースバイオマスの糖化に高い活性を示す安定な触媒として機能することが明らかになった。また、ある種の金属酸化物は水中で機能する固体ルイス酸として様々な反応を触媒することが見出された。

### 17:45-18:30 油脂類を中心としたバイオマスの化学資源としての活用

（日本触媒・GSC触媒技術研）高橋 典

オイルパームを中心としたバイオマス資源の概略をその廃棄物を含めて説明すると共に、自社固定床バイオディーゼル技術ならびに、その副生物であるグリセリンの活用法を紹介する。

意見交換会 - 講師・R&D 懇話会会員・懇話会企画委員との自由討論（18:30-20:00）

講師・参加者による懇親会。意見交換を行いながら幅広い交流を行っていただきます。

#### ■参加費

申込区分	金額
R&D 懇話会会員	5,000 円
一般	7,000 円

\*上記参加料金は意見交換会（懇親会）の会費を含みます

#### ■申込方法

電子メールでお申し込み下さい。お申込みの際、以下の内容を併せてご明記下さい。  
メールタイトルに「5/27 R&D 懇話会 参加希望」と題記し、①氏名②勤務先③職名  
④勤務先住所⑤電話番号⑥FAX 番号⑦E-mail を明記下さい。

お申込先/お問い合わせ先 公益社団法人日本化学会事務局 R&D 懇話会担当  
電話 03-3292-6163、FAX 03-3292-6318、E-mail sangaku@chemistry.or.jp  
R&D 個人会員募集中 詳細は上記お問い合わせ先まで